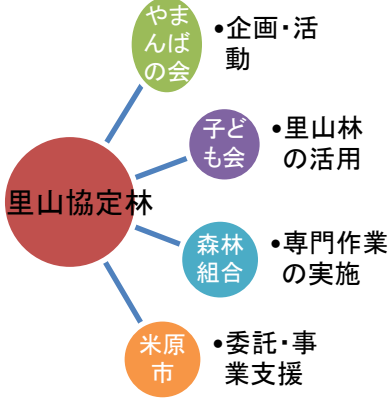


タイトル	里山林整備によるチップ生産と遺跡保全の一体的実施	
概要	史跡がある里山林整備において、不要木を利用し木材チップ化し、里山林環境の保全と史跡の保全の両方に役立てる。	
管理方法・技術的視点	<p>里山林を保全する中で発生する不要木等をチップ化し、同じ場所に位置する古墳をチップにより覆うことで文化財遺跡保全に役立てている。</p> <p>松くい虫による枯れ松伐採などの専門作業は米原市が委託した森林組合によって行い、並行してその他の保全活動を当会の他地元の子ども会をはじめとした複数の市民団体がかわって行っている。実施にあたって当該フィールドにおいて行政他複数の市民団体と「里山協定林」が設定されている。</p> <p>この他に、里山保全活動の中では細い枝やつるなど用材に向かないものをチップ化しカブトムシや歩道の舗装材としても活用している。また、高齢化の進む集落の裏山はカシノナガキクイムシによって枯れた大木で危険な状態にあり、藪化した里山はイノシシなどの隠れ家となって農作物の食害(獣害)を誘発している。危険な樹木を若い世代の当会会員が伐採し、その伐採木を会員家庭の薪ストーブ燃料とするなどの積極的な活用を図っている。</p>	
備考	<p>滋賀県琵琶湖森林づくり県民税を生かした取り組みとして2006年度から開始。当会の他、地元子ども会や米原市が役割分担をしながら取り組みを展開。活動地域には古墳遺跡が連続して残されており発掘調査が行われてきた。</p>	
場所・主体	滋賀県米原市 特定非営利活動法人やまのの会	
URL等	<a href="http://yamanbanokai.p1.bindsite.jp/">http://yamanbanokai.p1.bindsite.jp/</a>	